

simc News Letter

Sendai International Music Competition

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第6回仙台国際音楽コンクール 【開催日程】ヴァイオリン部門:2016.5.21(土)~6.5(日) ピアノ部門:2016.6.11(土)~6.26(日)

第6回仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門 セミファイナル第2日目演奏レポート

松本 學(音楽評論家)

第6回を迎えた仙台国際音楽コンクール。セミファイナルをすべて聴いてみて、前回以上にかなり高いレベルだと感じた。コンテスタントたちはそれぞれが独自の音楽的個性を持った演奏を聴かせており、出場者のよしあし云々よりも、その内容の違いを聴き分け、音楽と彼らの持つ豊かな可能性を楽しめる回になっていると思う。

豊潤なサウンドと端正な造形

シューマンの第1楽章でソロが入った瞬間に思ったのは、硬質な音質と、かなりの鳴りっぷりのよさ。丁寧に弾き進めていく姿はとても好感が持て、オーケストラの動きもよく聴いている様子だった。第2楽章も作曲家が内に込めた感情の機微を余すところなく連続とよく歌う。ポルタメントの使い方も品がよい。時折想いを分かち合うようにコンサートマスターの方を向いて弾く姿も印象的だった。フィナーレではさらに調子を上げ、充実の演奏となった。サウンドの豊潤さと造形の端正さが魅力的なヴァイオリニストだと思う。

サン＝サーンス《序奏とロンド・カプリッチオーソ》でも細部をくつきりと弾き、オケとの対話もしっかりできているようだった。



7 福田 悠一郎(日本)

シューマン / ヴァイオリン協奏曲 二短調

サン＝サーンス / 序奏とロンド・カプリッチオーソ op.28



9 ジャン・ユジン(韓国)

シューマン / ヴァイオリン協奏曲 二短調

サン＝サーンス / 序奏とロンド・カプリッチオーソ op.28

聴衆を興奮させる圧巻のテクニック

小柄な少女という見た目で見ると、その思い込みは気持ちよく裏切られる(まるで以前のボムソリの時のように)。稀にやや独特の歌い回しを感じるが、音量もあり、技巧的にはかなりのポテンシャルを感じさせた。達人だけでなく、第1楽章展開部の第2主題後の弱音の場面でも、楽譜の指示(p)よりも落とし、さらにテンポもかなり遅めにとって神妙な世界をしっかりと作り上げる(オーケストラのオーボエが素晴らしい対応を聴かせた瞬間でもある)。それゆえ、その後の爆発がいつそうスケールの大きいものになった。音階の連続などの技巧的な箇所、音楽のパッションと離れ、フレーズ感が薄まることのあるのが気になるところか。しかし、華やかさはあり、その魅力が最大限に発揮されたのが、後半の《序奏とロンド・カプリッチオーソ》。とにかく巧く、ヴァイオリンのみとなる箇所でのスルG(一番低い音を出すG線のみで弾く奏法)の高速のアクロバティックな動きなどまさに華麗。スピッカート(弓を跳ばず奏法)のアルペッジョが始まる時の迫りも十分である。聴衆を興奮させる才能を持つ演奏家だ。



■お問い合わせ先/公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: http://www.simc.jp/



34 坪井 夏美(日本)

シューマン / ヴァイオリン協奏曲 二短調
 サラサーテ / カルメン幻想曲 op.25

作品への共感を誠実に音にする音楽家

落ち着いた響きを持ったヴァイオリニストで、シューマンでは、作品の中に入ってゆくような、とても誠実な演奏を聴かせた。スタート時は少しだけナーヴラスになっていたように見えたが、曲が進むにつれて好転。第2楽章ではしみじみとした歌を聴かせた。弱音の使い方も作為的でなく良い。第2楽章から第3楽章への移行部はもう一步高まりが欲しかったように思う。188小節は、この日の他の3名が旧ショット版のようにオクターヴ上げていたのに対し、新校訂版に従い下がった2点イ音で演奏。ラストの8分音符も楽譜通り短くしていた。

サラサーテ《カルメン幻想曲》は持ち前のテクニックが活かされ、音色も多彩で見事に弾ききった。スビト*p*(突然弱音に落とす)の前に挿まれるルフトパウゼ(ごく短い間)も絶妙。ラストの勢いもよい。ほんの僅かにボウイングの乱れがあったものの好演を聴かせてくれた。



17 黒川 侑(日本)

シューマン / ヴァイオリン協奏曲 二短調
 サン=サーンス / 序奏とロンド・カプリッチオーソ op.28

作品研究が徹底されたシューマンと、作品のカラーをしっかりと弾き分けたサン=サーンス

シューマンは音楽の造形が素晴らしい。作品研究が徹底されており、細部は緻密で弾き飛ばすところが皆無。第1、3楽章は遅いテンポが取られているが、いささかも弛緩することなく見事に弾きとおした。

後半はサン=サーンス《序奏とロンド・カプリッチオーソ》をセレクト。シューマンとは音色を変えてきているだけでなく、鮮やかなテクニックを作品の表現に奉仕させて、これ見よがしに用いないのは立派。もちろん作品の興奮は十分に表現された。対照的な2つの作品の個性をしっかりと表現しており、きわめて高く評価されると思う。

コンクールの演奏をYouTubeでお楽しみいただけます。

第6回仙台国際音楽コンクールでは、全てのステージをライブで配信します。

また、すべての演奏を9月末までの期間でYouTube配信も行います。

<http://simc.jp/simc/top/>

最新情報はFacebookから!!



仙台国際音楽コンクール公式Facebookでも最新情報を配信しております。

<https://www.facebook.com/SendaiInternationalMusicCompetition>

第6回仙台国際音楽コンクールチケット情報

	ヴァイオリン部門	ピアノ部門	座席	料金
予選 各部門概ね36名	5月21日(土) 終了 22日(日) 終了 23日(月) 終了	6月11日(土) 10:00~ 12日(日) 10:00~ 13日(月) 10:00~	全席自由 (日付指定)	1,000円
セミファイナル 各部門12名	5月27日(金) 終了 28日(土) 終了 29日(日) 終了	6月17日(金) 18:00~ 18日(土) 14:00~ 19日(日) 14:00~	全席指定	S席3,000円 A席2,000円
ファイナル 各部門6名	6月2日(木) 18:30~ 3日(金) 18:30~ 4日(土) 15:00~	6月23日(木) 18:30~ 24日(金) 18:30~ 25日(土) 完売	全席指定	S席3,000円 A席2,000円
入賞者記念 ガラコンサート 各部門1位から3位	6月5日(日) 完売	6月26日(日) 完売	全席指定	S席4,000円 A席3,000円

【プレイガイド】

- ローソンチケット
Lコード: 26661 (ヴァイオリン部門)
: 26662 (ピアノ部門)
- チケットぴあ
Pコード: 284-653 (両部門共通)
- 仙台三越
- 日立システムズホール仙台1階事務室
(仙台市青年文化センター)
- イズミティ21 (1階事務室)



■お問い合わせ先/公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: <http://www.simc.jp/>